

横浜工場で小型リヤダンプトラックボデー自動化ラインが完成 ～中型自動化ラインに続き大幅な生産性の向上を実現～

極東開発工業株式会社（本社：大阪市中央区 社長：布原 達也）が、横浜工場（神奈川県大和市）内にて設備投資を行っておりました小型リヤダンプトラックボデーの自動化ラインが完成したことをお知らせいたします。

本ラインは、横浜工場において2021年9月より稼働している中型リヤダンプトラックボデーの自動化ラインに続き、同工場の主力製品のひとつである小型リヤダンプトラックボデー生産ラインを刷新したもので、自動溶接ロボットを増設をはじめ効率化を徹底的に追求したことにより、従来のラインと比較して約45%生産性を向上させました。なお、本設備投資に伴う投資額は約12億円で、今回、2024年7月からのトライアル生産を経て当初想定の効果を確認されたため、本稼働を行うものです。



横浜工場 小型リヤダンプトラックボデー自動化ライン



特装車は、一品一様でのオーダーメイドによる製作が多いことや、大型～小型までサイズも非常に多岐に亘るため生産の自動化が難しい製品ですが、横浜工場における中型・小型リヤダンプトラックボデー自動化の実績を基に、他工程においても生産の効率化に向けた自動化を推進していく方針であります。

極東開発グループでは、引き続き生産性の向上に寄与する設備投資をさらに積極的に進めることで、業績の拡大と特装車事業を通じた社会への貢献に一丸となって努めてまいります。

【設備概要】

- | | |
|------------|--|
| 1．名称 | 横浜工場 小型リヤダンプトラックボデー自動化ライン |
| 2．投資額 | 約 12 億円 |
| 3．目的 | 小型リヤダンプトラックボデーの生産自動化による
生産体制の効率化
将来を見据えた小型リヤダンプトラックボデーの生産
自動化及び無人運搬機による部品自動供給による
効率化・省人化 |
| 4．ボデーライン全長 | 76m |
| 5．ロボット台数 | 20 台 |
| 6．物流システム | 立体自動倉庫設置 ・ フォーク型無人運搬機による部品配膳 |

【ご参考：中型リヤダンプトラックボデー自動化ライン設備概要】

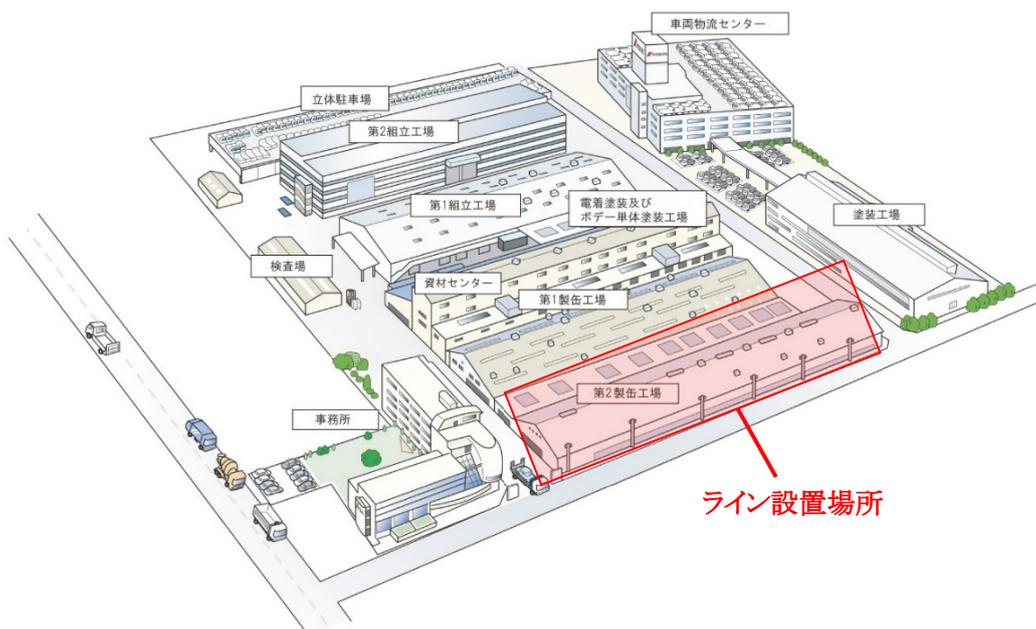
- | | |
|-------------|--|
| 1. 名称 | 横浜工場 中型リヤダンプトラックボデー自動化ライン |
| 2. 稼働 | 2021年9月 |
| 3. 投資額 | 約12億円 |
| 4. 目的 | 中型リヤダンプトラックボデーの生産自動化による生産体制の効率化
将来を見据えた中型リヤダンプトラックボデーの生産自動化及び無人運搬機による部品自動供給による効率化・省人化 |
| 5. ボデーライン全長 | 66m |
| 6. ロボット台数 | 26台 |
| 7. 物流システム | 立体自動倉庫設置 ・ フォーク型無人運搬機による部品配膳 |



(ご参考) 小型リヤダンプトラック



(ご参考) 横浜工場



横浜工場全景パース

< 広報お問合せ先 >
極東開発工業株式会社 法務広報部
〒541-8519 大阪市中央区淡路町二丁目5番11号
電話 (06) 6205 - 7826 F A X (06) 6205 - 7830
ホームページアドレス <https://www.kyokuto.com/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



極東開発グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。